

映像教育研究会

於：東京 御徒町 ナリカ

2014年2月1日

主催者 長谷川智子さん

牧衷さんの話

いいものが「いい」とわかる人間を育てたい。



力学教育改革の構想

現在の力学の学習過程を何とかしたい。

1. イメージでわかる。

未知のことに見当がつく。物理的直観の養成

2. $F = ma$ の教育から $mv = Ft$ の教育へ

力積を中心に教える。現実の動きから考える。

(加速度は直観により理解できない)

3. 二次方程式を使わない。2乗が出てくると落ちこぼれる。

m/s^2 を「毎秒〇メートル毎秒ずつ速くなる」と教える。

1当たり量の扱い方に新居信正さんの算数を復活させる。

4. 計算の効用を教える。

力が働き続けているときの運動をどう扱うか。